パブリックコメント実施結果報告

●第２次稲敷市子ども・子育て支援事業計画（案）に対する意見募集の概要

実施期間　令和元年12月16日（月）～令和2年1月15日（水）

閲覧場所　市ホームページ、子育て支援センターあいアイ

提出方法　「意見等記入用紙」様式に必要事項を記入し提出

●第２次稲敷市子ども・子育て支援事業計画（案）に対する意見募集の結果

応募者　1名　ご意見の内容は主に３項目となっていましたので、下記のご意見欄は項目ごとに分けて掲載させていただきました。

ご意見と回答

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| No. | ご意見の要点 | ご意見 | 市の回答 |
| 1 | パブリックコメントの実施方法について | 現在３児を子育て中の会社員です。ホームページを見て初めてパブリックコメントを出せることを知り、今回のプラン全ページを読みました。12月に行われたタウンミーティングも参加しましたが、まず、この計画案がホームページ、あいアイでのみしか見ることができないということが残念でありません。これからの未来をつくる子どもたちに関するプランです。タウンミーティング同様、広報やメールなどで告知を行い、小学校、保育園などでも告知するべきではないでしょうか？それが本気でこの計画を達成させるということだと思います。 | パブリックコメントの実施方法につきましては、広報稲敷お知らせ版、ホームぺージにおいて告知し、子育て支援センター「あいアイ」及び子ども家庭課担当課窓口においても閲覧できるよう配置させていただきましたが、メール配信等は実施しておりませんでした。頂きましたご意見は、今後、パブリックコメントを実施する際の参考とさせていただきます。 |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| No. | ご意見の要点 | ご意見 | 市の回答 |
| 2 | 待機児童対策について | プランの概要から意見させていただきます。平成27年の結果から女性の就業率80％となっていましたが、現在はさらに上がっているでしょう。それにともなって児童が減っている（出生率の減少）にも関わらず、入所児童数は変わっていません。幼稚園の児童数が減少しているにも関わらず、保育園の受入れが90％以上ということが結果だと思います。働きながら子育てすることがよりよい生活になりつつある中、保育所の受入れ人数が変わらず、0歳児待機児童30人というのは、市として対応すべきではないでしょうか？重要性は高いとして、市として認識しているようですが、ほとんどが現状維持となっており、目標値がないといっても良いのではないですか？アンケートから数値化したのをもとに、令和6年度までどの項目をいくつまで上げるという形にしない限り、市民の声を聞いた目標計画にはならず、自己満足になってしまうと思います。だからこそ、アンケートを大切にし、子育て支援施設や商業施設などで声を直接聞き対応することが、市全体の満足度になると思います。 | 教育・保育の量の見込みにつきましては、ニーズ調査の結果と将来人口推計に基づき算出したものであり、確保方策は、それに沿って作成しているものです。待機児童対策としましては、全国的な教育・保育の需要拡大に伴い保育士の確保が非常に難しい状況のなか、新規の小規模保育の開設や、人材派遣を活用した保育士の確保など最大限の対策をとっているところです。市民の皆様のご意見聴取につきましては、今後も引き続き様々な機会を通して行っていくよう努めてまいります。子育て支援の充実に向けて、今後も取り組んでまいりますので、ご理解とご協力をお願い致します。 |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| No. | ご意見の要点 | ご意見 | 市の回答 |
| 3 | ファミリーサポートセンター事業について | ぜひ検討していただきのがあります。ファミリーサポートの運営ですが、現状維持とされていますが、これをすべて見直していただきたいです。茨城県を見てもファミサポのサービスがこれだけ限られているのは稲敷市くらいです。時間は9時～16時、土日祝日は対応不可では、本当にちょっとした息抜きです。働き方が変わり、時間・曜日もみなさん様々ですので、対応する条件をより広く見ることが一番早く、効果的で予算もかからないと思います。特に北茨城市のファミサポは育児だけでなく介護までと手厚く、高齢化が進む社会には必要なサービスかと思います。稲敷市のよい所は1時間200円と利用しやすい値段になっている所です。ここを変えず、さらにサポート体制が充実していれば仕事と育児の両立への支援となるのではないでしょうか？0歳児の待機児童がいるということは仕事に行けずやめざる得ない、そんな不安を持っている母親がいるということです。（私がそうです。）保育園での定員数を上げることは保育士を確保し、場所も必要となるので、今すぐには難しいでしょうがファミサポならすぐに対応できるのでは？できれば時間・曜日・年齢問わず（未就学児対象ではなく）、一人一人の要望に合わせる形が理想的で、なおかつ値段も他と比べても安い、これはとても自慢できることです。子ども数が少ないからこそ手厚いサポートが実現できると思いますし、おまかせ会員の方もより広く公募し、地域の人が地域の子どもを育てる、まさに「家庭や地域に温かく見守られながら子どもが健やかに生まれ育つまち」だと思います。リスクもありますが（安全性など）、このファミサポシステムにしたところで大きく損害が出ることもなく、他の市町村との差別化になると思います。本当の市民の声を聞きながら、ぜひ作り上げていって欲しいと願っています。 | ファミリーサポートセンター事業につきましては、ご指摘の通り、独自の方法で運営しております。現状としては、サポート会員の確保・増員が非常に難しく、事業の拡大が出来ない状況にあります。今後はご意見として頂きました北茨城市の事業をはじめ、他都市における取組の状況も検証しながら、稲敷市の取組として良いところは生かしながら、他の事業との連携を図りつつ、新たな事業展開を検討してまいります。 |